

2025～2026 年度クラブ運営方針
「一揆一揆で親睦を深めよう」

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

よいことの
ために
手を取りあおう



2025 年（令和 7 年）7 月 9 日（水）
第 1684 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

（荒川 義昭 SAA）



●開会点鐘

（岩本 勝宏会長）

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様

東京昭島ロータリークラブ

会長 鈴木 圭一様

幹事 阿部 哲也様

●ご挨拶

東京昭島ロータリークラブ 会長 鈴木 圭一様

皆様、こんばんは。東京昭島ロータリークラブ本年度会長の鈴木圭一でございます。幹事の阿部哲也と共に、本日は表敬訪問という形でお時間を頂戴しました。

昭島中央ロータリークラブの皆様には親しい方が多く、本日の訪問を私自身、大変楽しみにしておりました。会長就任前より、岩本会長、柴田幹事様とは多摩中グループ協議会などでお目にかかり、昨晚も懇親会で和やかに交流させていただきました。本年度、昭島中央ロータリークラブ様が充実した 1 年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。どうぞ 1 年間よろしくお願い申し上げます。



●会務報告

（岩本 勝宏会長）



皆様、改めましてこんばんは。本日は、私の年度における第 2 回目の例会に、これほど多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございます。まだ少々緊張しておりますが、これから徐々に慣れてまいりたいと思いますので、温かい目で見守

っていただけますと幸いです。

昨日、多摩中グループの協議会が開催されました。その場で、規定審議会における「クラブおよび地区に関する変更点」について、お話がありましたので、会員の皆様にも共有させていただきます。

<地区大会について>

これまで毎年の開催が義務付けられていた地区大会について、今後は「開催するか否かを地区の判断に委ねる」との決定がなされました。とはいえ、良い地区大会が実現できるのであれば、積極的に開催することが望ましいとの方針も併せて示されています。

<クラブの最低会員数>

これまでクラブの設立・維持に必要な最低会員数は 20 名とされていましたが、新たに 15 名へと引き下げられることとなりました。

<RI 人頭分担金の値上げについて>

来年度より、以下の通り人頭分担金が段階的に引き上げられる見込みです。

次年度：+3.50 ドル（約 525 円）

その翌年：+3.75 ドル（約 563 円）

さらにその翌年も：+3.75 ドル（約 563 円）

値上げの背景には、世界的な会員数およびクラブ数の減少があります。2023 年から 2024 年の 1 年間で、会員数は 19,414 名減少、クラブ数も 352 クラブ減少したとのことです。2025 年の統計はまだ出ていませんが、このような状況から RI 本部としても財政的に厳しい局面を迎えているとの報告がありました。ちなみに、世界全体で集まっている会費の総額は約 136 億円にのぼるそうですが、それでも運営にはなお課題があるとのことです。

<多摩中グループ内の会員数状況>（2025 年 5 月末時点）
多摩中グループ内の会員数上位クラブは以下の通りです。

1 位：立川ロータリークラブ（118 名）

2 位：立川こぶしロータリークラブ（96 名）

3 位：昭島中央ロータリークラブ（53 名）

当クラブが玉中グループ内で第3位に位置していることは誇らしく、今後もこの順位を維持・向上させていけるよう、引き続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。

●幹事報告

(柴田 智幸幹事)



7月7日(月)、昭島の「翠鳳楼」にて親睦委員会の炉辺会議が開催されました。当日は、委員をはじめ、オブザーバーを含む13名が参加し、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

続いて、昨日7月8日(火)は、第6回多摩中グループ協議会がホテルエミシア東京立川にて開催され、岩本会長と私が参加してまいりました。会議の中で、いくつかの連絡事項がありましたので、ここでご案内させていただきます。

まず、国際ロータリー第2750地区による第44回インターアクト年次大会が、7月30日に開催される予定です。詳細については追ってご連絡いたしますが、関係の皆様にはご留意いただければと思います。

また、令和7年度に実施予定のインターンシップ事業について、地区より協力のお願いがございました。これは、2750地区の各クラブ会員の皆様が所属する企業等において、インターンシップの受け入れにご協力いただけるかどうか、という内容です。ご興味のある方、あるいはご協力可能な方がいらっしゃいましたら、幹事までお知らせください。個別にご相談させていただきます。

来週7月16日(水)の例会には、ガバナー補佐がご来訪くださる予定です。幹事として一つお願いがございます。ぜひ多くの会員の皆様にご出席いただきたく存じます。また、当日は、ロータリーソングの斉唱をはじめ、丁寧な設営・進行を心掛けていただければと思います。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

●新年度各委員長 活動方針 I

鈴木 栄奉仕プロジェクト委員長



皆様、こんばんは。今年度の基本方針と事業計画についてご報告申し上げます。

まず基本方針ですが、クラブの四大奉仕委員会が円滑に活動・運営できるよう、各方針委員長並びに委員の皆様としっかり協力しながら、目標達成に努めてまいりたいと考えております。

続いて事業計画です。1つ目は、各委員会が積極的に炉辺会議を行い、親睦を深めながら、事業の実施に向けてしっかり連携をとっていくこと。2つ目は、継続事業に対しても工夫やアレンジを加えることで、新たな活動につなげていけるよう、委員会内外で積極的に意見交換を行っていくことです。

来月末には、「くじら祭」も予定されております。奉仕活動を通じて、会員同士のつながりがより一層深まればと思っております。1年間、どうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

磯野 昇親睦委員長



皆様、こんばんは。基本方針としましては、会員相互の友情と親睦を深めることを第一とし、会員ご家族にもロータリー活動への理解を深めていただけるような活動を推進してまいります。

事業計画としましては、まず会長・幹事をはじめ、各委員会との連携をしっかりと図り、親睦委員会としてより良い活動を提案していきたいと考えています。各イベントでは、委員長・副委員長が方向性を決めた後、委員全員に情報を共有し、炉辺会議等で意見交換を行いながら、企画の質を高めてまいります。

また、他委員会と合同でイベントを行う際は、事前に役割分担を明確にし、円滑な運営を目指します。加えて、親睦委員会全員で、会員および会員ご家族が楽しく参加できるイベント内容を工夫し、積極的な参加につながるよう努めます。

ニコニコボックスの発表においては、集められた善意が奉仕活動に活かされるという目的を委員全員が共有し、会員の皆様に感謝の気持ちを持ってその運営にあたります。

最後に、新会員や他クラブとの親睦を深めることにも積極的に取り組みます。合同例会などへの参加を通じて、他クラブの良い点を学び、取り入れながら活動を進めてまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

指田 裕士 SAA (会場監督)



皆様、こんばんは。今年度の基本方針についてご報告させていただきます。

基本方針は、「例会の秩序を保ちつつ、来訪者および会員にとって有意義で価値のある例会の実施を目指し、円滑かつ和やかな運営を行う」ことです。

今年度のスタートに先立ち、6月に1度、炉辺会議を開催し、委員の皆様と進行の確認を行いました。実際の運営では細かな調整が必要で、たとえば本日は音響の不備がありましたが、次回以降はこうした点を改善し、ミスのない運営を心がけてまいります。

活動方針としては、会長・幹事をはじめ、関係各委員会と密に連携し、例会がより良いものとなるよう努めます。例会には多くの部署が関係しているため、SAAとしての役割は「進行の交通整理」であると捉え、各担当者が自信を持って進行できるよう準備と確認を行ってまいります。また、例会の時間管理も重要です。開始・終了時刻をしっかり守り、秩序と緊張感を持ちつつも、落ち着いた雰囲気で行うことを心がけます。

SAAは、気品と風紀を保つクラブ運営の柱のひとつです。これまで先輩方が引き継いできた引継資料にも助けられながら、司会進行役が安心して進行できるよう、横で支えていくことも重要な役割と考えています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

若杉 司長期計画委員長



皆様、こんばんは。本委員会の基本方針は、「クラブ運営を定期的に見直し、会員の意識を高めるとともに、常に5年先を見据えたクラブビジョンを構築し、長期的な目標を策定・実行していく」ことです。

事業計画といたしましては、まず、クラブ創立40周年に向け、あと3年足らずとなっておりますので、早期に実行委員会を立ち上げる予定です。また、各委員会との連携・協力体制を強化し、クラブ全体の活動をサポートしてまいります。さらに、新規事業へのチャレンジも視野に入れております。挑戦したいというお気持ちをお持ちの方は、ぜひ積極的にご提案いただければと思います。

継続事業の見直しも進めます。特に子ども用車椅子寄贈や少年野球教室といった事業は、これまで大変意義深い活動として継続されており、今後もぜひ継続していきたいと考えております。例会を通じてこれらの活動の素晴らしさを改めて実感しており、伝統ある活動を守りながらも、新たな試みにも取り組んでいければと思います。まだまだ至らぬ点もございますが、今後はパスト会長をはじめとする歴代会長の皆さまのご助言もいただきながら、クラブの長期的発展に向けて計画を進めてまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

重森 元樹社会奉仕・環境保全委員長



皆様、こんばんは。委員会の基本方針としましては、ロータリーの基本理念である「奉仕」の精神を実践し、地域社会への貢献を目的とした事業を継続的に展開していくことです。また、これまで実施してきた事業の見直しも行い、より良い内容となるよう改善・発展を図ってまいります。

主な活動予定としては、例年通り「昭島くじら祭」への参画や、「多摩川クリーン作戦」への参加を予定しております。また、委員の皆さまのご希望があれば、新たな事業への挑戦も視野に入れ、検討していきたいと考えております。

くじら祭につきましては、来月開催予定です。日程が近づいておりますので、皆さまにはこの場をお借りして、概要のみご案内申し上げます。お手元に「昭島市民くじら祭について」の資料をお配りしておりますが、こちらはまだ理事会の正式承認を得ておりません。そのため、現時点では具体的な内容まではご案内できませんが、日程調整の一助となれば幸いです。くじら祭は、地域のお子さまやご家族の皆さまにとっても楽しいイベントであり、毎年多くの参加者で賑わいます。今年も、クラブ一丸となって盛り上げてまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

水田 義明青少年委員長



皆様、こんばんは。活動方針といたしましては、まず「第29回青少年野球教室」を12月21日(日)に、くじら公園にて開催予定です。事前準備などもございますので、会員の皆さまにはぜひご協力・ご参加をお願い申し上げます。また、「第28回東京昭島中央ロータリークラブ杯争奪大会」が、同じくくじら公園にて開催されます。決勝戦は2月11日(祝)を予定しております。皆さまの温かい応援・ご声援をお願い申し上げます。

さらに、毎年恒例の「走り方教室」も、来年4月に実施を予定しております。

青少年委員会では、地域の青少年の健全育成を図ることを目的に、次世代を担う若者たちに奉仕の精神、責任感、そしてリーダーシップを育むような活動を支援してまいります。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

椎名 正明職業奉仕委員長



皆様、こんばんは。職業奉仕は、ロータリーの中心理念のひとつであり、「自らの職業を通じて社会に貢献し、人と人との信頼を築いていく」ことを基本方針としております。職業は単なる生業にとどまらず、人間としての品位や倫理観を体現する場でもあります。

会員一人ひとりが、自身の職業に誇りと責任を持ち、地域社会から信頼される存在となることを目指してまいります。

具体的な活動としては、委員会での事務所・事業所見学を実施予定です。また、会員相互の職業理解を深めるため、会員各位の事業内容についての情報収集・共有も行っていきます。

なお、私が職業奉仕委員長を務めるのは今回が2回目となります。前は「多摩モノレールの車両基地見学」を企画・実施いたしました。本年度も、それに勝るとも劣らないような魅力的な企画を目指してまいりますので、ぜひ皆さまのお力添えをお願い申し上げます。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

成田 篤史国際奉仕委員長



皆様、こんばんは。委員会の基本方針は、「国際的なプロジェクトへの参画や、海外のパートナーとの共同活動を通じて、平和と相互理解を推進する」ことです。

具体的な事業としましては、例年継続している子ども用車椅子の海外送付活動を、今年度も引き続きメインプロジェクトとして実施いたします。4月から補助金申請を進めてまいりましたが、無事に承認が下りました。今後の予定としては、9月初旬に炉辺会議を開催し、その後、1回目の車椅子整備作業を行う予定です。委員会メンバーだけでなく、有志の会員の皆さまにもご協力いただきながら進めてまいりますので、ぜひご協力をお願いいたします。以上、どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

中澤 紀之プログラム委員長



皆さま、こんばんは。プログラム委員会は、経験豊富な先輩方のご意見をいただきながら、会員の皆様がわくわくできるような、有意義で心に残る例会を目指していきたいと考えております。

特に、岩本会長から委員長のご指名をいただいた際に、「これまでとは少し違った、変化のある例会も企画して欲しい」とのリクエストをいただきました。私自身、芸術活動にも取り組んでおりますので、そうした背景を活かしながら、文化的な要素や新しい切り口を取り入れた例会にも挑戦していければと考えております。もっとも、実際にプログラムを組むことができる例会は年間で10回にも満たないため、すべてを実現するのは簡単ではありません。しかしその中でも、できる限り多様性と深みのある内容を盛り込んでいきたいと考えています。

また、もし会員の皆様の中に、ご自身の仕事、趣味、あるいは人生経験など、「魂からあふれ出すようなお話」を共有してみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。そうしたお話こそが、最も心に響くプログラムになると信じています。会員一人ひとりの魅力を引き出せるような場をつくっていただけたらと思っております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

●ニコニコ BOX

(相羽 吉春親睦委員)



◎東京昭島ロータリークラブ

会長 鈴木圭一様・幹事 阿部哲也様
東京昭島中央ロータリークラブの皆様、本日は、表敬訪問の機会をいただき、ありがとうございます。今後も、「手を取り合い」ながら地域社会への奉仕活動を進めていければと存じます。
貴クラブの皆様の温かいご対応に、心より感謝申し上げます。

◎◎◎星野会員

岩本・柴田年度 昭島会場初例会を祝し

◎岩本会長

東京昭島ロータリークラブ、鈴木会長、阿部幹事、ご来訪ありがとうございます。
各委員長の皆様、卓話よろしくお願いいたします。

◎内藤会員

本日も宜しく

○磯野会員

会員の皆様、1年間よろしくお願いいたします。

○桜井会員

各委員長、活動方針発表ありがとうございます。
1年間よろしくお願いいたします。

○重森会員

昭島ロータリークラブ 鈴木会長、阿部幹事、ご来訪ありがとうございます。

○水田会員

1年間よろしくお願いいたします。

・柴田幹事

昭島ロータリークラブ 鈴木会長、阿部幹事、ご来訪ありがとうございます。また、各委員長の皆様、1年間よろしくお願いいたします。

・岡野和弘会員

東京昭島 RC 鈴木会長、阿部幹事、本日はご来訪ありがとうございます。
各委員長の皆様、活動方針ありがとうございます。

・指田会員

東京昭島ロータリークラブ 会長鈴木圭一様、幹事阿部哲也様、ご来訪ありがとうございます。

●出席報告

(太田 剛出席委員)



会員数	51 名
出席義務会員	51 名
本日の出席	40 名

●次週例会予定

(相羽 吉春プログラム委員)



7月16日(水)
新年度各委員長 活動方針 II
ガバナー補佐表敬訪問

●閉会点鐘

(岩本 勝宏会長)